

平成30年度  
網走市における景気動向調査  
<第I四半期>

報 告 書

網 走 商 工 会 議 所

# 目 次

調査要領	1
1－1．調査時点及び調査対象期間	
1－2．調査対象	
1－3．調査方法	
1－4．回収状況	
第1章 概況	
2－1．全体の動き	2
2－2．業種別の動き	3
第2章 各判断項目回答割合と天気図	
3－1．業況	4
3－2．採算	10
第3章 産業別経営上の問題点	
4－1．回答実数	11
4－2．回答割合	11
第4章 産業別設備投資の状況	12
第5章 業界の景気動向等その他のご意見	13

# 第1章 調査要領

## 1-1. 調査時点及び調査対象期間

(1) 調査時点：平成30年7月2日(月)～平成30年7月27日(金)

(2) 調査対象期間：平成30年4月～6月期実施、及び平成30年7月～9月見通し

## 1-2. 調査対象

網走市に所在する建設業(30件)、製造業(23件)、卸売業(20件)、小売業(39件)、サービス業(44件)の156社を調査対象とした。

## 1-3. 調査方法

調査対象に調査票を送付し、FAX,もしくは返信用封筒による郵送で回答を受ける。

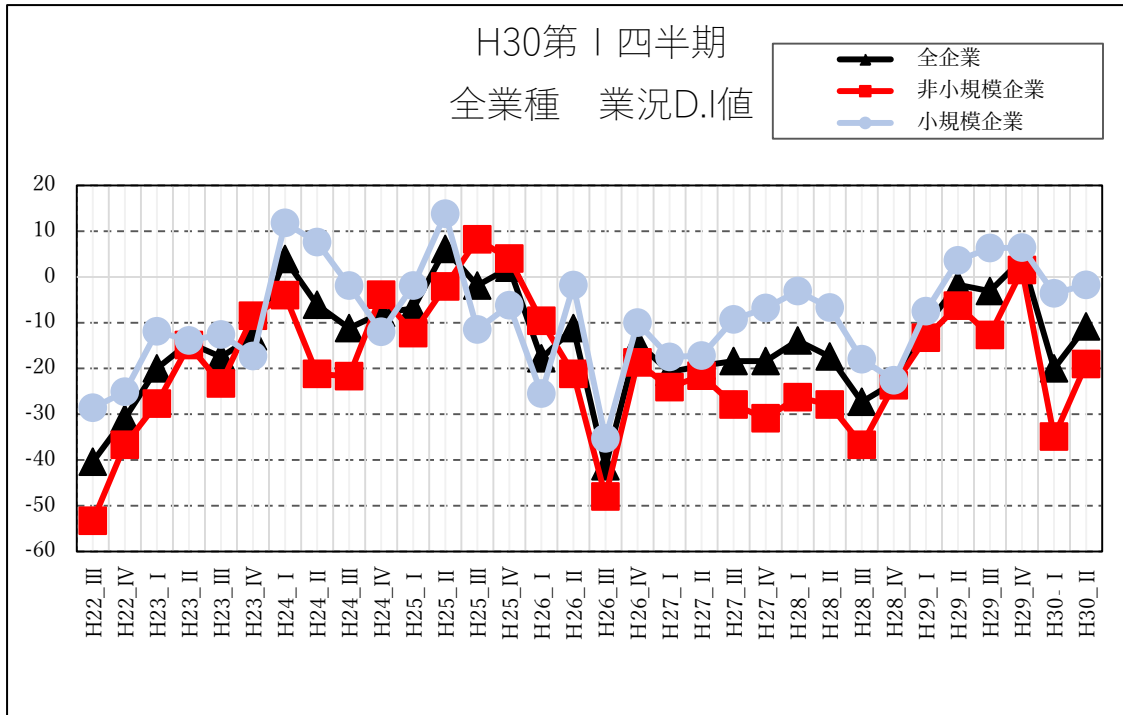
## 1-4. 回収状況

業種	企業数	対象企業数	回答企業数	回答率
建設業		30件	24件 (非小規模企業：12件) (小規模企業：12件)	80%
製造業		23件	18件 (非小規模企業：9件) (小規模企業：9件)	78.3%
卸売業		20件	16件 (非小規模企業：10件) (小規模企業：6件)	80%
小売業		39件	29件 (非小規模企業：15件) (小規模企業：14件)	74.4%
サービス業		44件	33件 (非小規模企業：17件) (小規模企業：16件)	75%
合計		156件	120件	76.90%

注) 小規模企業とは、常時使用する従業員が20名以下(卸売業、小売業、サービス業は5人以下)を示している。

## 第2章 概況

### 2-1. 全体の動き



平成30年度第I四半期<4月～6月>の業況は、前年同期比で「好転企業」14.2%、「悪化企業」34.2%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.I.値は▲20と前期に比べ23.9ポイント悪化しました。前期16期ぶりにプラス水準となりましたが、今期は再びマイナス水準となりD.I.値は大きく後退しました。

業種別で見た業況は、建設業が12.4ポイント悪化し▲20.8、製造業は48.3ポイント悪化して▲27.9、卸売業17.7ポイント悪化の0、小売業が28.5ポイント悪化の▲37.9ポイント、サービス業が36.5ポイント悪化して▲6となり、すべての業種で悪化を示しました。

次期<7月～9月>の業況判断D.I.は9.2ポイント改善の▲10.8を予想しており、業種別では製造業11.1、サービス業3.0、建設業▲8.4、卸売業▲12.5、小売業▲41.4で卸売業、小売業を中心に悪化の予想を立てています。

経営上の問題点としては、「人材不足が」が依然として高く（回答の50%）、卸売業、小売業を除くすべての業種で問題点にあげています。一方、卸売業、小売業では「得意先（客足）減少」が一番の問題であるとしています。その他、製造業では「諸経費増」をあげる企業も多くあります。

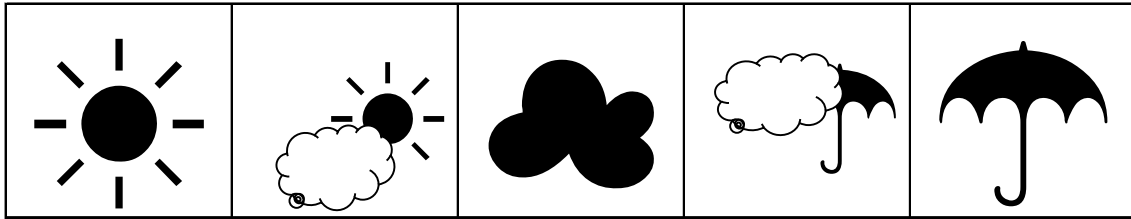
全体としては、景気後退局面から回復・改善傾向にあったものの今期再び大きく後退するなど、予断を許さない状況にあります。また、業種によって開きがあり、経営改善に向けた対応がより求められている状況にあると推測されます。

2-2. 業種別の動き

業種	規模/項目	売上高 (建設業は完成工事高)			採算			次期		
		増加	減少	DI	増加	減少	DI	業況	売上	資金繰り
建設業	小規模	33.3	41.2	-7.9	16.7	41.7	-25.0	-25.0	-8.3	0.0
	非小規模	0.0	66.7	-66.7	0.0	58.3	-58.3	-58.3	-25.0	-16.7
	全体	25.0	8.3	16.7	33.3	25.0	8.3	8.3	8.3	16.7
製造業	小規模	11.1	38.9	-27.8	5.6	50.0	-44.4	-44.4	11.1	-11.1
	非小規模	22.2	44.4	-22.2	11.1	66.7	-55.6	-55.6	33.3	-11.1
	全体	0.0	33.3	-33.3	0.0	33.3	-33.3	-33.3	-11.1	-11.1
卸売業	小規模	31.3	25.0	6.3	18.8	18.8	0.0	0.0	-12.5	-13.3
	非小規模	30.0	40.0	-10.0	10.0	20.0	-10.0	-10.0	-33.3	-10.0
	全体	33.3	16.7	16.6	33.3	16.7	16.7	16.7	33.3	-16.7
小売業	小規模	13.8	41.4	-27.6	6.9	41.4	-34.5	-34.5	-41.4	-24.1
	非小規模	17.6	35.3	-17.6	6.7	53.3	-46.7	-46.7	-40.0	-26.7
	全体	6.7	40.0	-33.3	7.1	28.6	-21.5	-21.5	-42.9	-21.4
サービス業	小規模	30.3	24.2	6.1	18.8	12.5	6.3	6.3	3.0	6.2
	非小規模	35.3	35.3	0.0	23.5	11.8	11.7	11.7	-11.8	-12.5
	全体	25.0	12.5	12.5	13.3	13.3	0.0	0.0	18.8	25.0

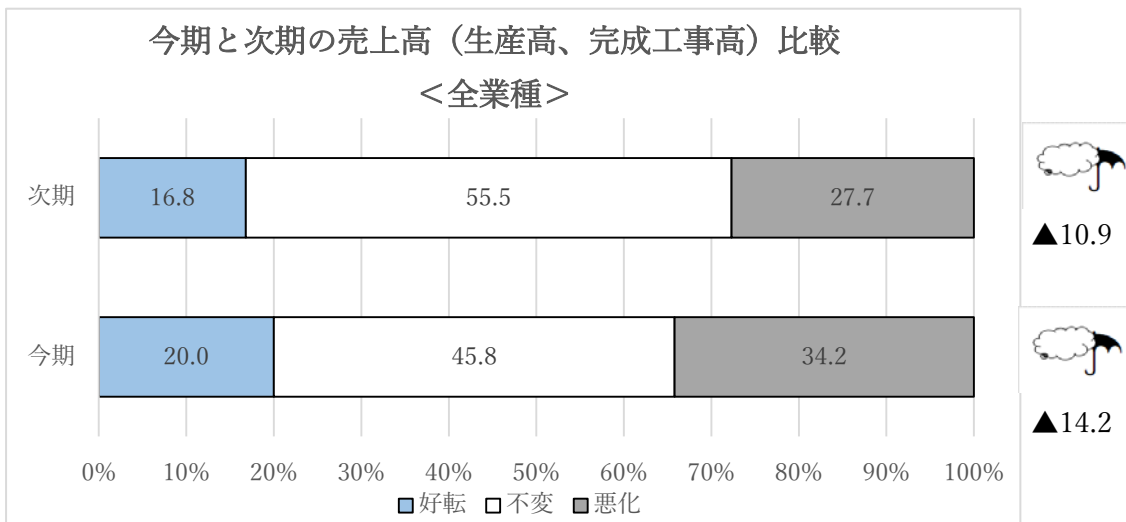
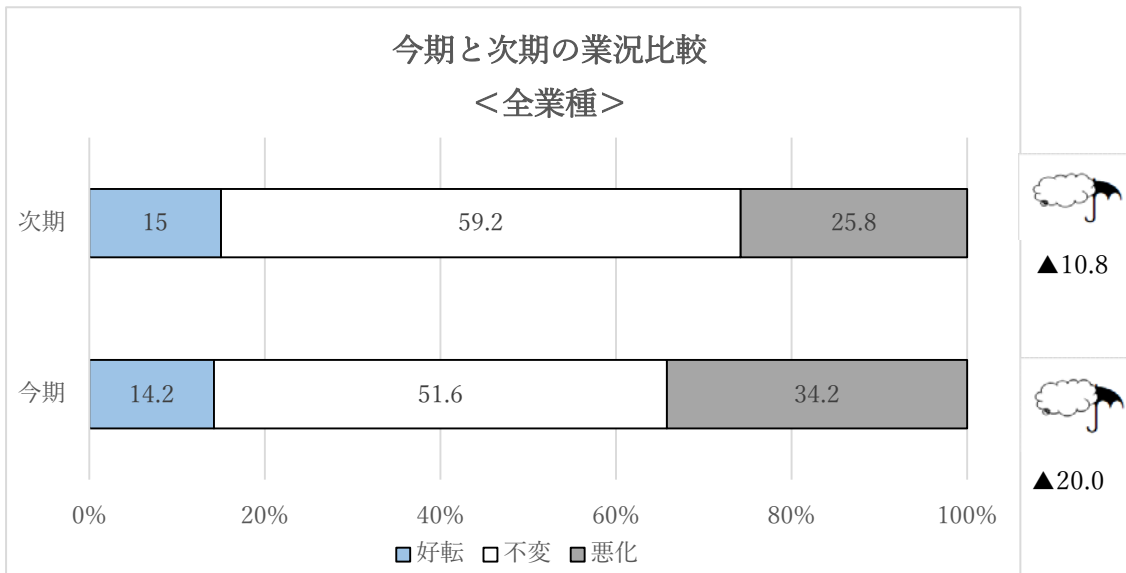
### 第3章 各判断項目回答割合と天気図

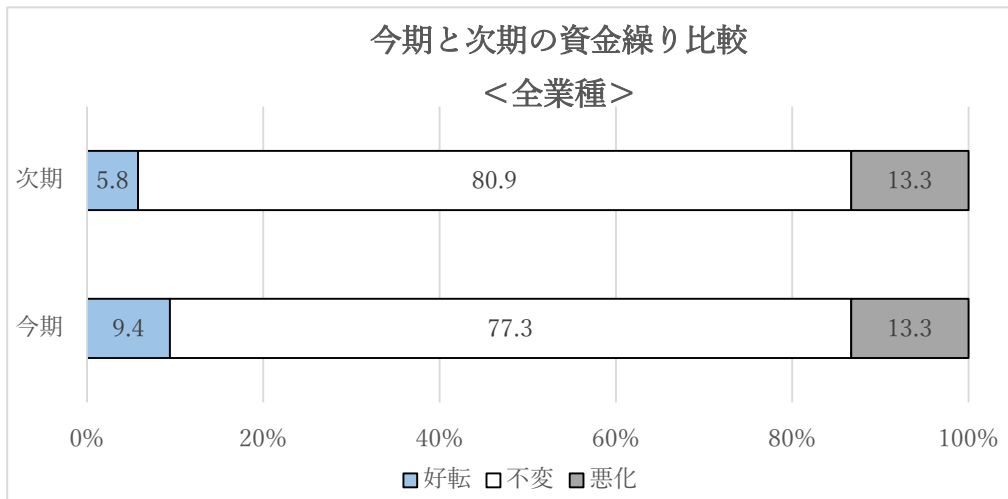
#### 3-1.記号説明



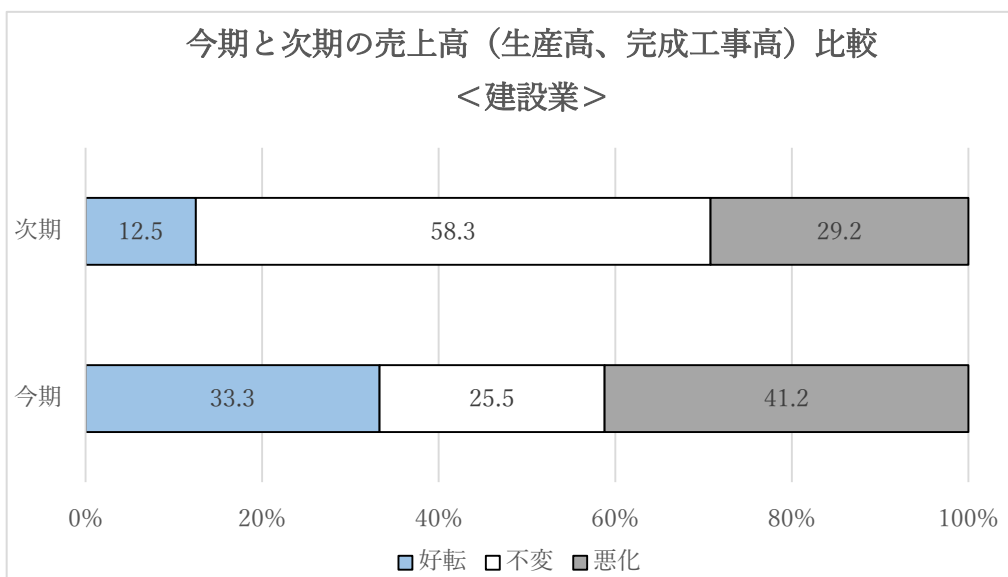
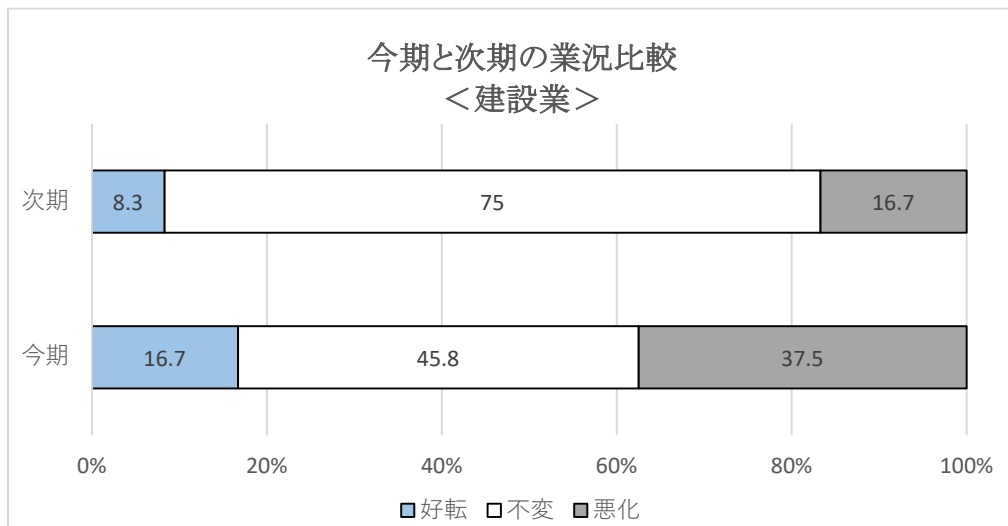
とくに好調 (D.I. ≥ 50)      好 調 (50 > D.I. ≥ 25)      まあまあ (25 > D.I. ≥ 0)      不 振 (0 > D.I. ≥ ▲25)      きわめて不振 (▲25 > D.I.)

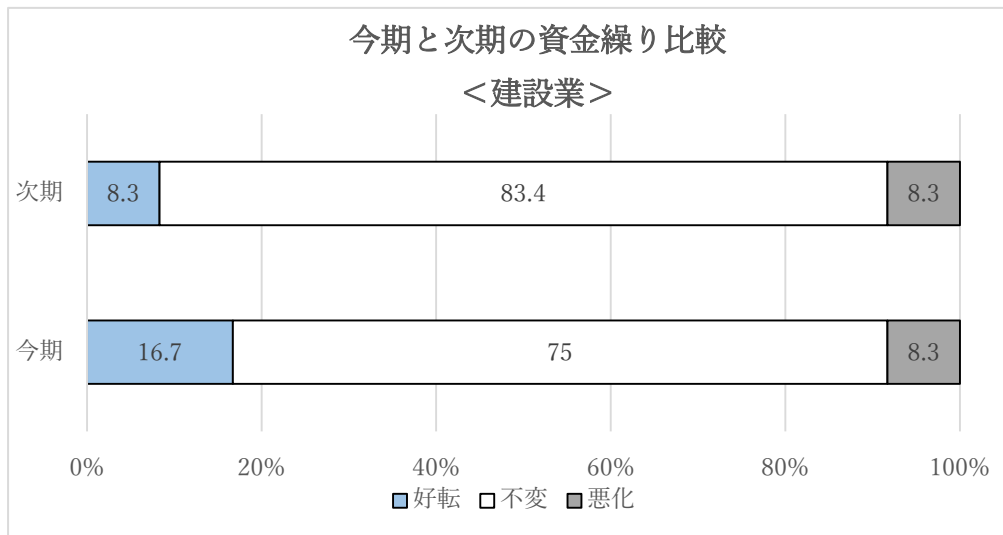
#### 3-2. 業況



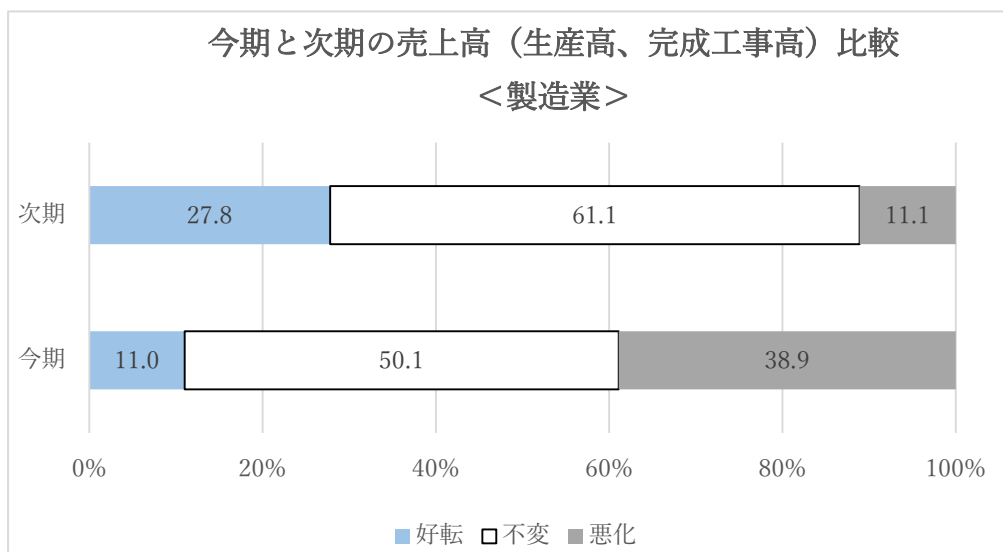
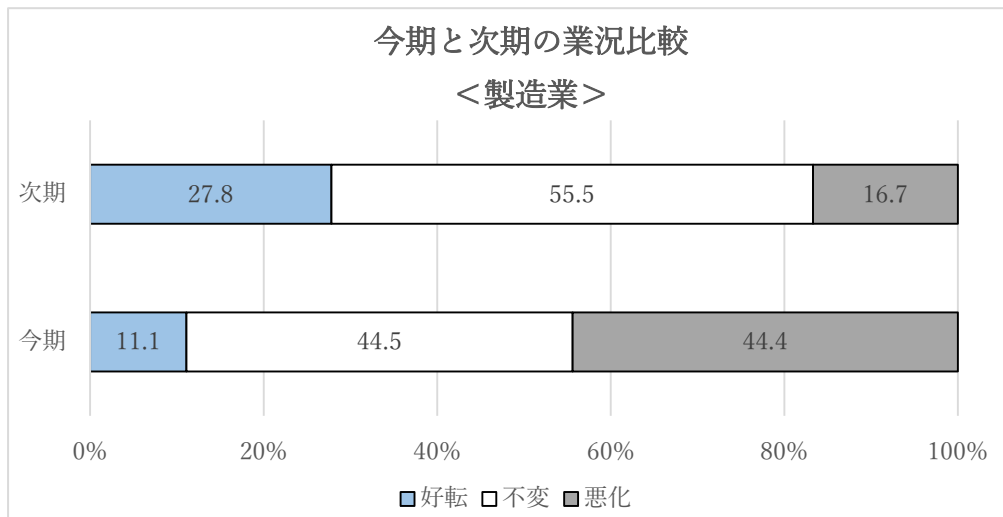


**建設業**

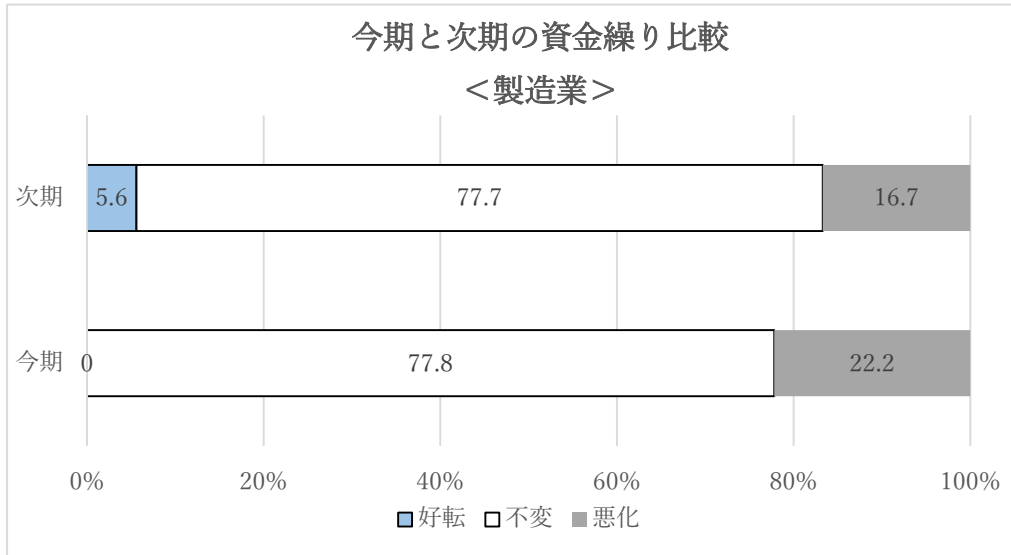




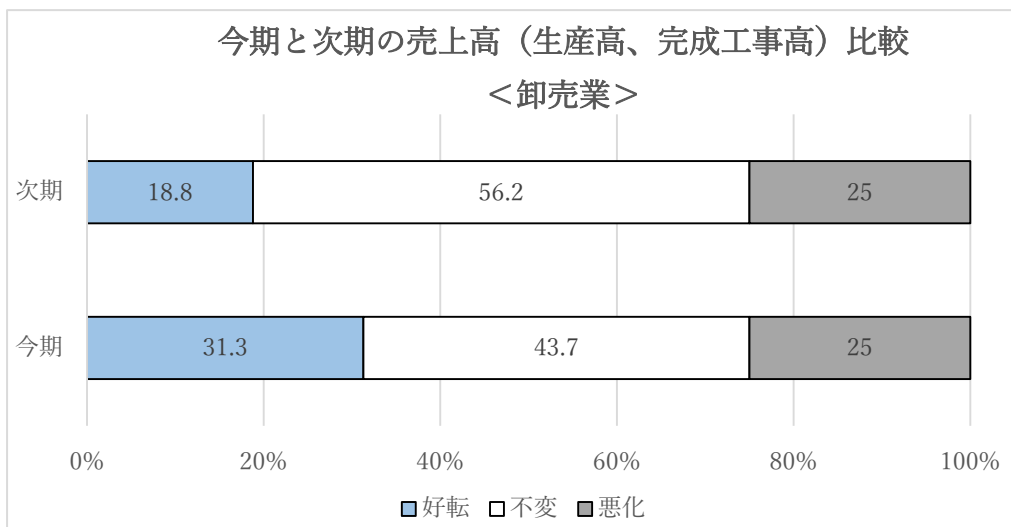
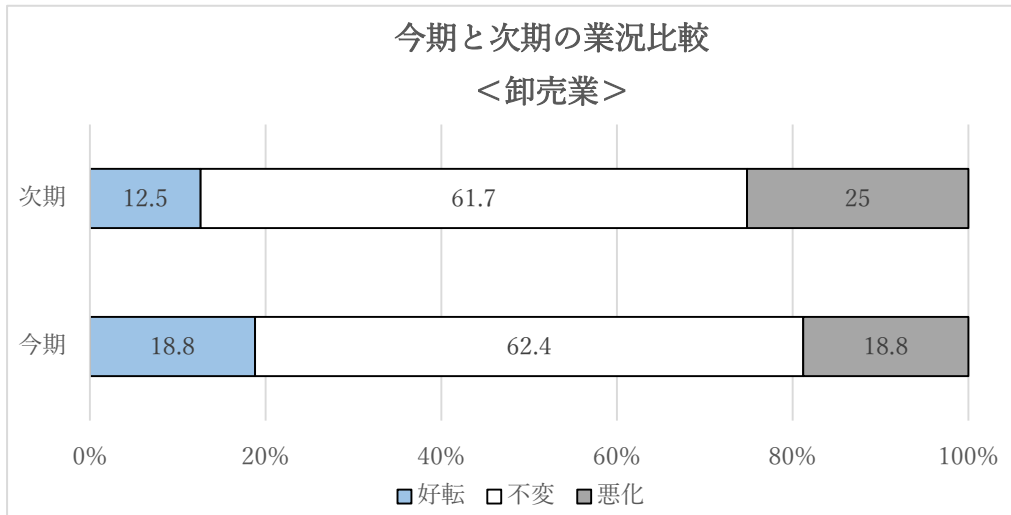
製造業

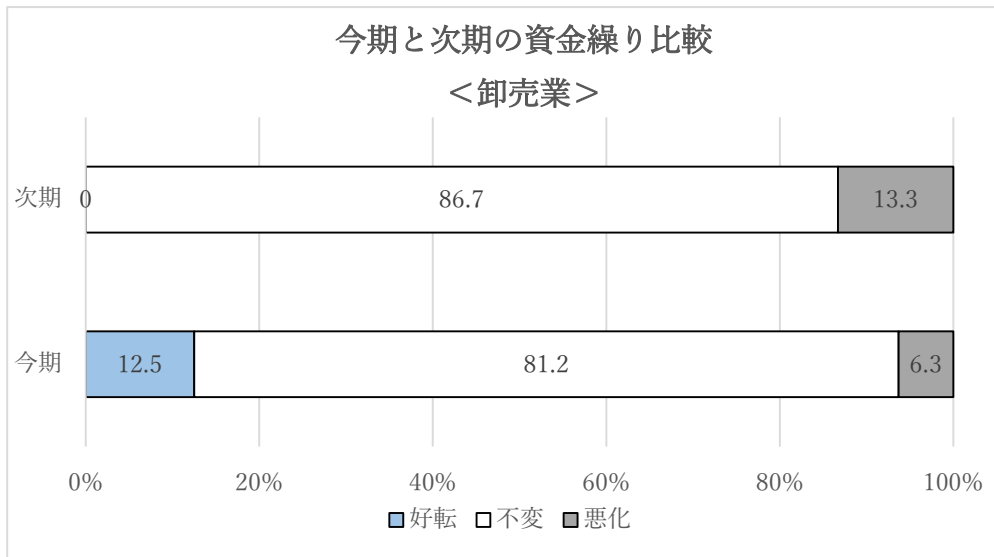




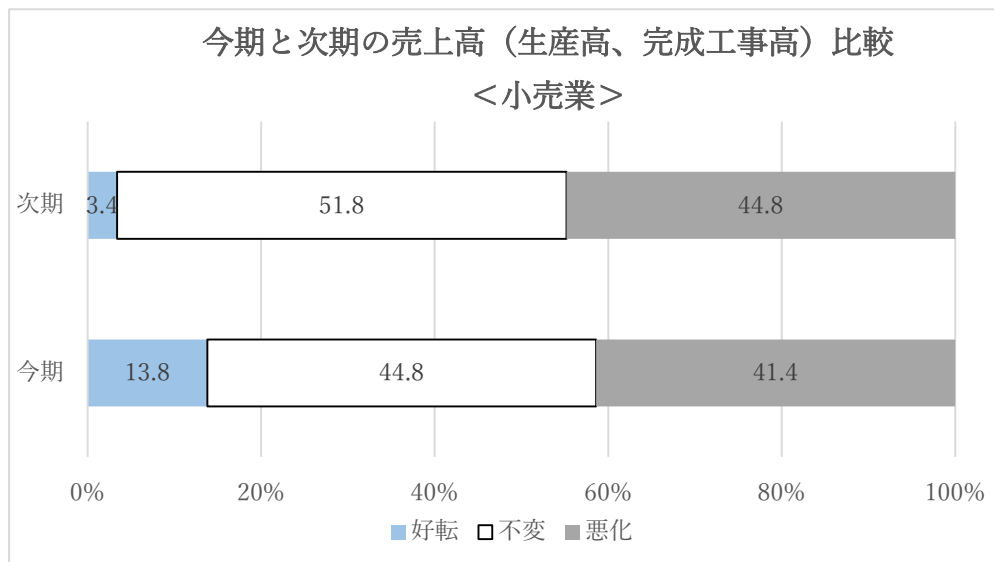
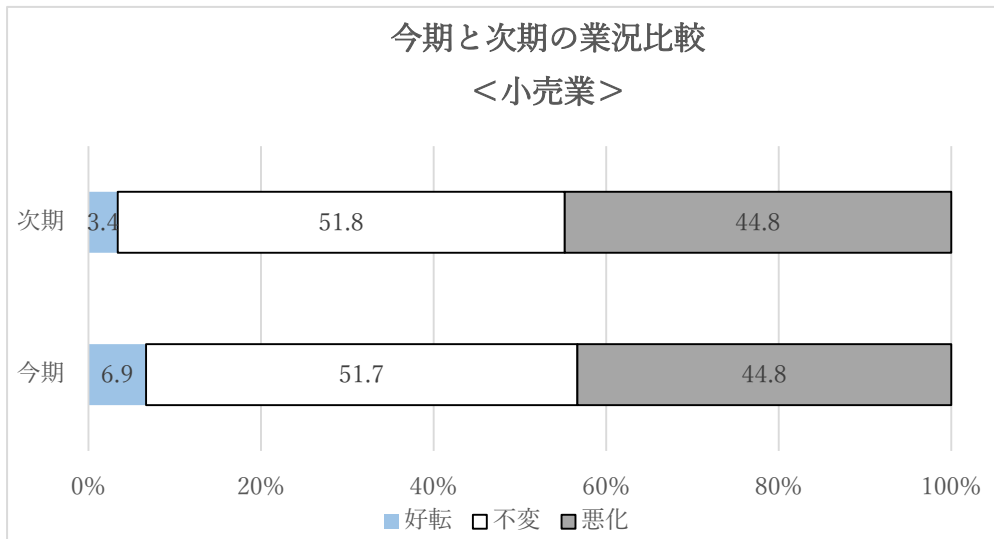


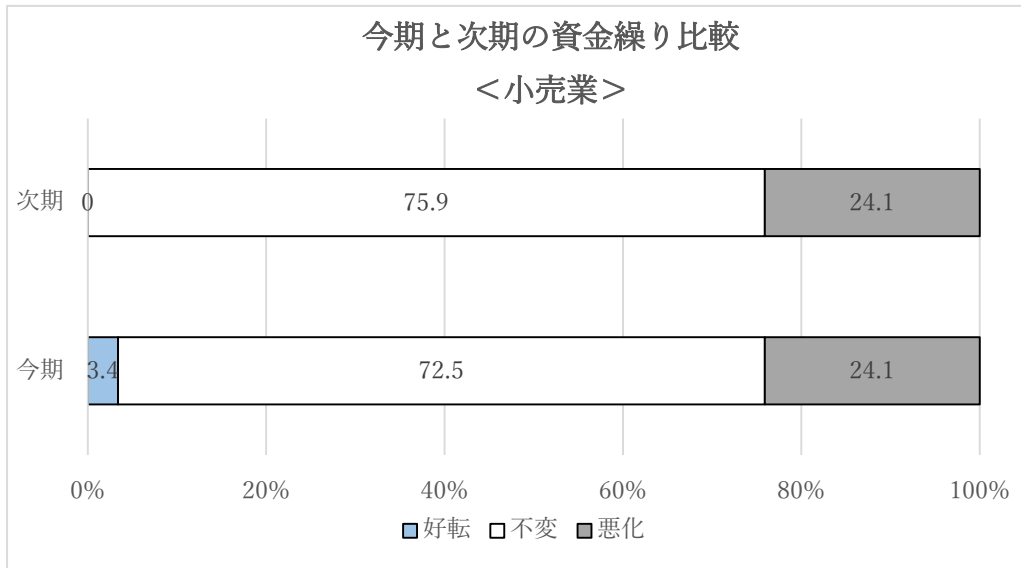
卸売業



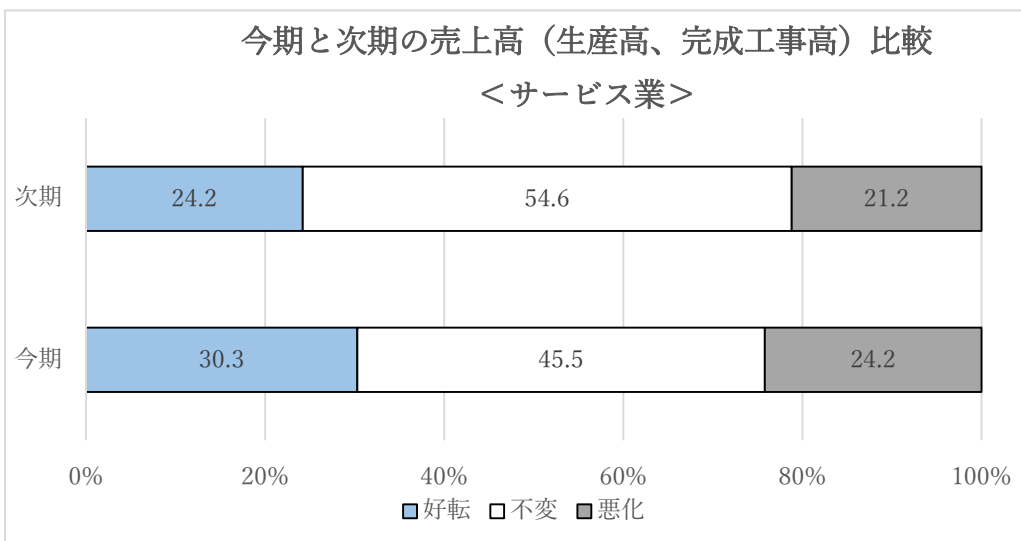
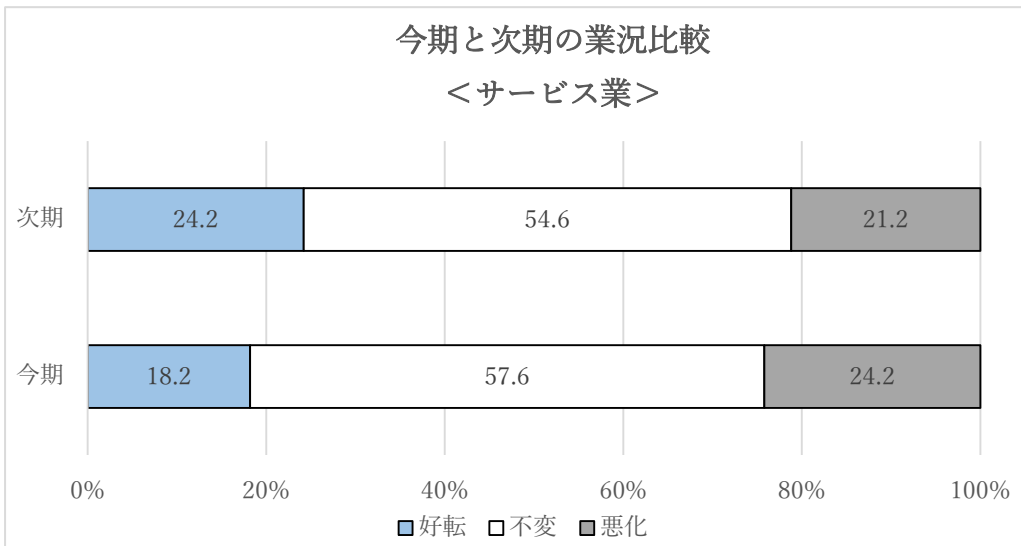


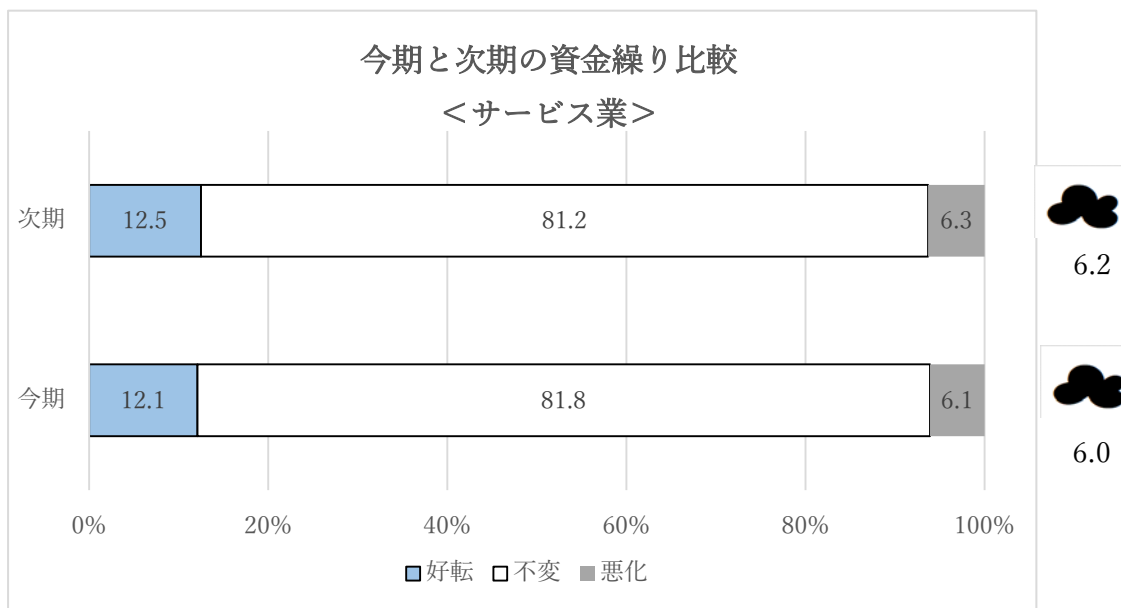
### 小売業



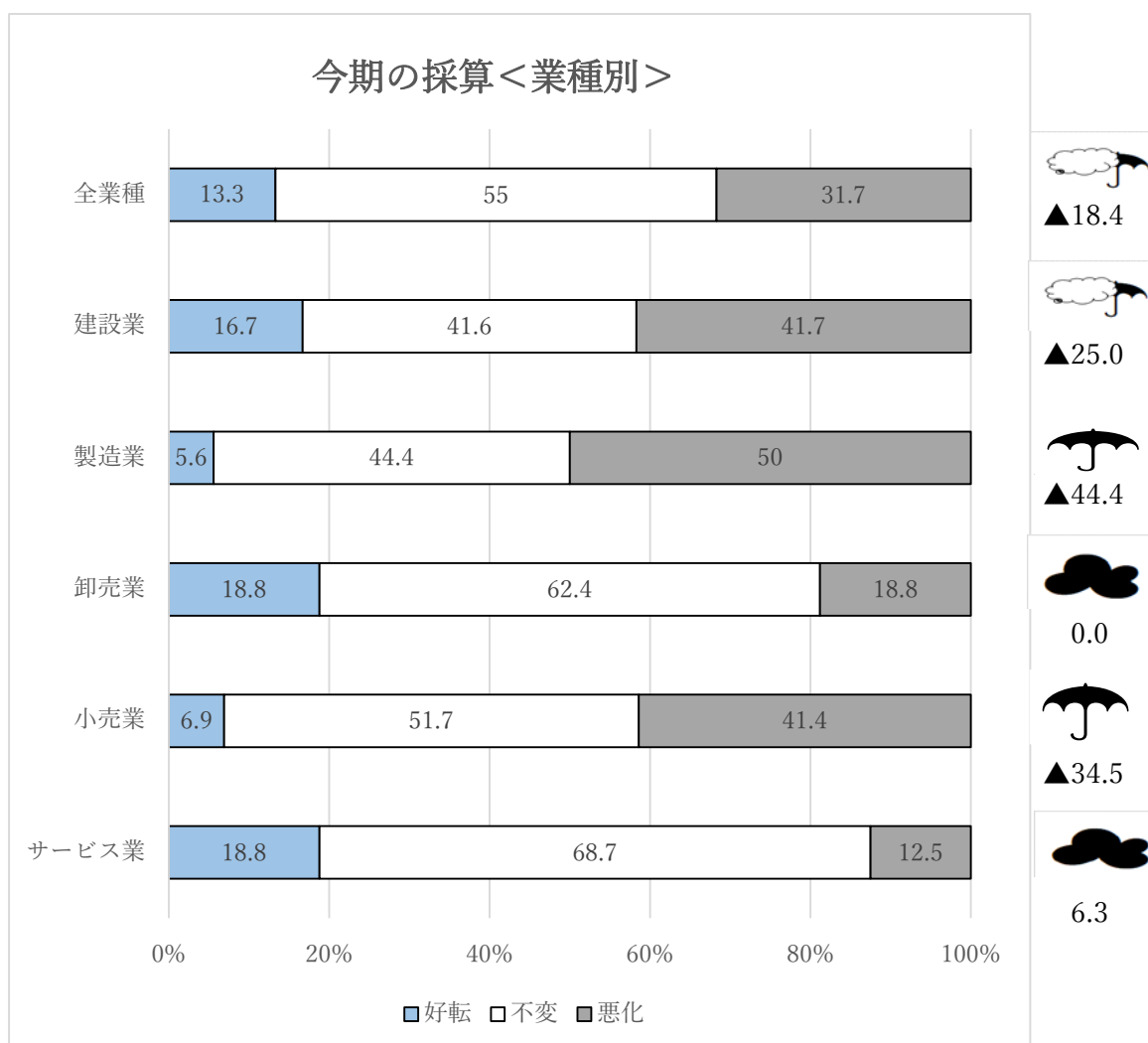


サービス業





### 3-3. 採算

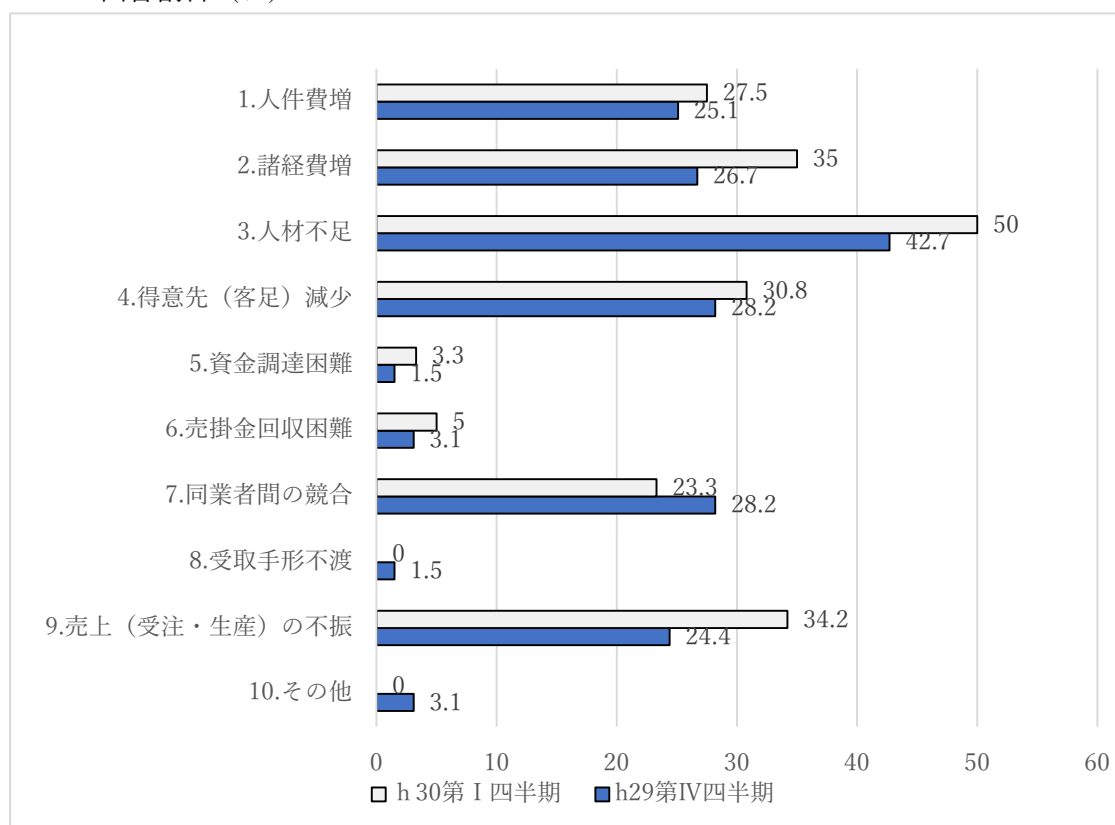


## 第4章 産業別経営上の問題点

### 4-1. 回答実数

業種	1位	2位	3位	4位	5位
建設業	人材不足	売上の不振	人件費増 諸経費増 同業者間の競合	得意先減少	—
製造業	人材不足 諸経費増	人件費増	売上の不振	得意先減少	同業者間の競合
卸売業	得意先減少	人材不足	諸経費増 同業者間の競合 売上の不振	人件費増	売掛金回収困難
小売業	得意先減少	売上の不振	諸経費増	人材不足 同業者間の競合	人件費増
サービス業	人材不足	人件費増	諸経費増 得意先減少	同業者間の競合 売上の不振	—
合計	人材不足	諸経費増	売上の不振	得意先減少	人件費増

### 4-2. 回答割合 (%)



注：複数回答あり

## 第5章 産業別設備投資の状況

今期の設備投資の有無と設備内容について調査し、業種別に統計しました。  
設備投資の有無は表1のとおり、設備内容は表2です。

表1 業種別件設備投資の動向

設備投資	建設業		製造業		卸売業		小売業		サービス業		合計	
した	7件	29.2	7件	38.9	4件	25.0	3件	10.3	9件	27.3	30件	25.0
しない	17件	70.8	11件	61.1	12件	75.0	26件	89.7	23件	69.7	89件	74.2
無回答	-	-	-	-	-	-	0.0		1件	3.0	1件	0.8
合計	24件	100.0	18件	100.0	16件	100.0	29件	100.0	33件	100.0	120件	100.0

※右側の数字はパーセンテージを表している。

表2 業種別設備投資の内容

設備投資 内容	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計
土地	2件	-	1件	-	-	3件
店舗	-	-	1件	1件	1件	3件
販売設備	-	-	2件	-	2件	4件
車両運搬具	3件	-	2件	1件	4件	10件
付帯設備	-	4件	-	1件	4件	9件
OA機器	1件	1件	1件	-	1件	4件
福利厚生施設	-	-	1件	-	-	1件
その他	-	2件	-	2件	-	4件

※複数回答があるため、表5-1の合計件数と相違している。

※その他の記述内容(4件記述あり)

## 第6章 業界の景気動向等その他のご意見

### ◎業界の問題点について

#### 【建設業】

- ・建設業下請け会社の人材不足今後さらに深刻な問題になっていくと思います。
- ・職員の高齢化と人材不足です。

#### 【製造業】

- ・日本経済低迷の為、物価が上がらないので原料仕入価格が高くなっても、商品にそのまま高くなった分を転嫁できない。
- ・工場（機器、設備）及び施設の長期使用に伴う更新もあり、なかなか思うように新規設備の導入に踏み込めない。また依頼かけても工事が立て込んでいたり、施工に順番待ち状態で予定通りには進めにくい。

#### 【卸売業】

- ・昨年とはやや違う天候、6月は比較的順調だったが、やや気温の変動が大きく作物成育が進んだり止まったりで平均的に平年並みか。ただ現在（7/5）雨が多く心配である。  
（問題点となるかどうか）
- ・社員の高齢化。
- ・整備士の不足。
- ・求人しても人が来ません。

#### 【サービス業】

- ・人材不足。
- ・前年同期に比べ売り上げは微増したが、人材不足による営業日の減少、また出張経緯費の増加などが課題として残る。
- ・問題・課題点は多数あります。サービス業を営む者にとって自ら一線で働く時、人と接する、食べものを作る、掃除をする、数字計算に目を配るなどやることは少なくな。時代にマッチしたサービス業を目指して、知識の収集（網商主催のセミナーの活用）をはかるのですが、、、